

☆ みみずのたいそう

神沢利子〔ほか〕著 のら書店



「つちのなかから とびだして みみずの たいそう ぴんぴこぴん」
思わず口ずさみたくなるような詩が、たくさんついています。

☆ 大どろぼうホッツェンプロッツ

プロイスラー作 偕成社



おばあさんの宝物を取り返すため、大どろぼうホッツェンプロッツを捕まえることにしたカスパールたち。機転を利かせ、数々の困難を乗り越えましたが…。

2022

夏休みにすすめる本

3・4年生のみなさんへ

☆ やかまし村の子どもたち

リンドグリーン作 岩波書店



やかまし村には家がたったの三軒、子どもは六人だけです。でも、たいくつすることなんてありません。なぜって、毎日が楽しいことではいっぱいだからです。

わたしがおよぐ理由
—パラスイマー—
いちのせーノ瀬メイ

金治直美文 学研プラス



社会が障害者をつくりだすなら、社会が障害者をなくすこともできる。短い右腕という個性を持つノ瀬選手の深い思いが込められています。



※文字を読むのがむずかしい方は、音声版を利用できます。

図書館へご相談ください。

おうちの方へ

ここに紹介する本は、調布市内の読書指導を研究する先生方と図書館の協力で、実践の中から選んだものです。

刊行物番号 2022-61

令和4年7月7日 発行

調布市立小学校
教育研究会図書館研究部
調布市立図書館

表紙写真は

『ねこの商売』（福音館書店）
『大どろぼうホッツェンプロッツ』（偕成社）
『わっしょいー深川八幡水かけ祭りー』（ポプラ社）
より

アラビアン・ナイトのおはなし

中川正文ぶん のら書店



アラビアンナイトの代表的なおはなし「アリババと四十人のとうぞく」「アラジンとまほうのランプ」「空とぶ木馬」が美しい絵で語られています。

☆ オバケだって、カゼをひく！

富安陽子作 ポプラ社



路地のおくにある鬼灯医院。世界でひとりだけのオバケを診察する鬼灯先生に、ぼくは留守番をたのまれます。

☆ ソフィーとカタツムリ

キングスミス作 評論社



4さいの女の子ソフィーは生きものが大好きで、ダンゴムシやゲジゲジやミミズをかっています。ソフィーのゆめは、女牧場マンになることです。

わっしょい

ふかかわはちまん 一深川八幡水かけ祭りー
やじまますみ作 ポプラ社



深川八幡祭りは、江戸三大祭りのひとつです。一週間かけて準備し、むかえる本番。練り歩くお神輿に水をかけ「わっしょい わっしょい」のかけ声で町中が盛り上がります。

オバケの長七郎

ななもりさちこ作 福音館書店



古道具屋の源ジイに拾われた、5歳のオバケの長七郎。一人前のオバケを目指す長七郎が、商店街で数々のゆかいなできごとを巻き起こします。

こおり

前野紀一文 福音館書店



透明な氷をつくってみよう！色のついた氷はできるかな？
水が氷にかわるときに、どんなことがおきているのかが、わかります。

ねこの商売

林原玉枝文 福音館書店



お客が来ないおまんじゅうやの幸福堂。ある日「ねこのて おかしします」というはり紙を見つけて、ご主人が電話してみると、三毛ねこがやってきました。

☆ おじいちゃんの小さかったとき

塩野米松文 福音館書店

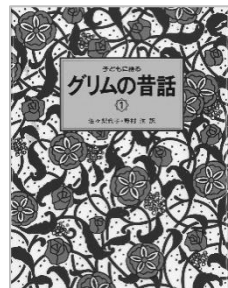


おじいちゃんが小さかったころの昭和のくらしを紹介する本です。『おばあちゃんの小さかったとき』もあります。

☆ 子どもに語るグリムの昔話

1~6

グリム兄弟著 こぐま社



「白雪ひめ」「ルンペルシュティルツヘン」など、グリム兄弟が集めたドイツの昔話の本です。全部で64編のお話が楽しめます。

おとうさんのちず

シュルヴィッツ作 あすなろ書房



おとうさんがパンの代わりに買ったのは大きな地図。地図を見ていると、ひもじさもわすれて、はるか遠くまで行くことができました。

千びきおおかみ

筒井悦子再話 こぐま社



道に迷って木の上で夜をあかす旅の商人。夜中、木の下におおかみたちが集まり、はしごのようにつらなっていく。日本のこわい昔話集です。

昆虫の体重測定

吉谷昭憲文・絵 福音館書店



テントウムシの体重は何グラムでしょう？カブトムシの幼虫と成虫はどちらが重い？虫の重さをはかると、おどろくような発見がたくさんあります。

☆はシリーズのあるもの